

持続的成長のためのCSR活動

企業基盤

コーポレート・ガバナンスの強化・充実

持続可能な社会の実現に貢献するとともに中長期的な企業価値の向上と毀損防止を目指して、広範なステークホルダーとの連携を強化し、適正な意思決定と経営の健全性、説明責任の向上に努める。

基本的な考え方

H.U.グループは、「医療における新しい価値の創造を通じて、人々の健康に貢献する。」を企業理念に掲げ、「目指す姿」および「価値観・行動様式」のもと、経営効率を高めていくとともに、企業活動が社内外の広範なステークホルダーとの連携と調和によって成り立っていることを強く自覚

し、経営における透明性の向上と迅速かつ適正な意思決定につながるコーポレート・ガバナンスの確立に努めます。

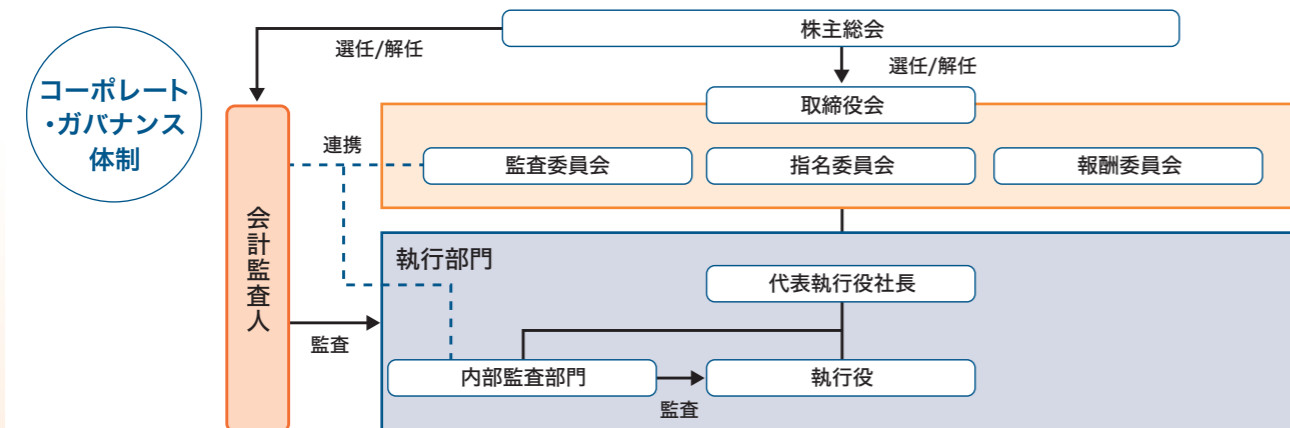
●「コーポレート・ガバナンス方針」は、下記ウェブサイトで開示しています。
https://www.hugp.com/resources/file/pdf/20200701_CG_policy_J.pdf

コーポレート・ガバナンス体制

H.U.グループは、コーポレート・ガバナンスの強化・充実を経営上の重要な課題として認識しており、経営における透明性の向上と迅速かつ適正な意思決定につながる経営機構の確立に努めています。そのため、監督と執行の明確な分離と事業を迅速に運用できる執行体制の確立ならびにグループ会社統治の高度化を目的として委員会設置会社（現・指名委員会等設置会社）の営業形態を2005年6月27日より採用し、同年7月1日よりグループを統轄する純粋持株会社に移行しています。

取締役会は、各委員会からの報告、執行役からの業務執行状況および経営目標の達成状況の報告を受け、タイムリーな経営情報の把握／監督が行われております。また、取締役7※名のうち5名を社外取締役とし、各分野の有識者を選任しています。

※H.U.グループホールディングス㈱ 定款第18条より、「当会社の取締役は、10名以内とする。」



コーポレート・ガバナンス強化への取り組み

透明性を踏まえ、迅速・適正な意思決定を行うことが、健全な経営には欠かせません。また、中期計画の達成に向かって、H.U.グループがスピード感を持ち、一体となって活動していく必要があります。現在はこれらを実現するための取り組みとして、H.U.グループ内の決裁ルールを統一し、グループ経営の強化を進めています。

海外展開を積極的に進めている臨床検査薬事業では、国内外の事業を統括し、グローバル経営の加速とガバナンスの強化を目的とする富士レピオ・ホールディングスを設立しました。また、グループ企業理念体系やブランドメッセージ、コーポレート・ガバナンス方針は英訳版を作成することで、海外子会社も共有できる体制を整えています。今後とも、国内外において一層強固なガバナンス体制の構築を進めていきます。

内部統制システム

適切なガバナンス体制の維持・強化の重要性から、内部統制システムの基本方針を定め、監査委員会による監査体制の強化、子会社・関連会社を含めた管理規程の整備を進め企業集団における業務の適正を確保するための体制を構築するなど、さらなる整備強化を進めています。

コーポレート・ガバナンス・コードへの対応状況

東京証券取引所の定めるコーポレート・ガバナンス・コードの趣旨に賛同し、各原則をすべて実施しています。なお、2018年6月1日に公表された改訂コーポレート・ガバナンス・コードを踏まえた報告書は、2018年12月末日までに提出する予定です。

●「コーポレート・ガバナンス・コード」は、下記ウェブサイトで開示しています。
https://www.hugp.com/resources/file/pdf/CG_HUHD0701.pdf

役員の報酬に対する考え方

企業価値・株主共同の利益を向上させることを最重要課題と位置づけ、執行役に対する業績連動型報酬制度を導入するとともに、業績との連関が高くない退職慰労金制度を廃止し、また株主の皆さまと執行役その他従業員の利益を共有化する目的から株式報酬制度を導入しています。

持続的成長のためのCSR活動

企業基盤

コンプライアンスの徹底

コンプライアンスの体制を整備・充実し、適切に運用するとともに、すべての役職員の法令順守と世界的な行動規範に対する意識向上に努め、特に医療機関や医療関係者等との関係の透明性を確保する。

基本的な考え方

H.U.グループは医療に携わる企業として、コンプライアンスの徹底は会社の存続に関わるものと位置づけています。その基本的な指針を示すものとして、2013年に「H.U.グループ企業行動指針」を策定しました。これはグループで働くすべての役員および従業員にとって、事業活動におけるすべての判断の基準、あらゆる企業活動における判断基準となるものです。海外の子会社にも展開されるよう、英語版、中国語版も用意しています。さらに「H.U.企業行動委員会」を設置し（企業行動委員会はグループ各社に設置されています）、コンプライアンスに関する問題が生じた際には、企業行動委員会が事実関係を調査し、適切に対処する体制を構築しています。また法務契約本部には、弁護士や弁理士の有資格者を含めた、知識経験豊富なメンバーが在籍しており、複雑な法律や知財に関する問題について対処できる体制を設けています。

コンプライアンス教育

H.U.グループでは、コンプライアンスに関する知識をQ&A形式でわかりやすくまとめた「コンプライアンスハンドブック」を2016年に発行し、各部にて読み合わせ会を実施するなど、従業員へのコンプライアンス意識の啓発に活用しています。最新の動向や社会からのニーズを反映したコンプライアンスブックのアップデートを2018年度に予定しているほか、ハラスメント研修など各種研修においてコンプライアンスの内容を組み込み、グループ全体での意識向上を図っています。



コンプライアンスハンドブック

内部通報制度の運用

H.U.グループでは国内子会社を対象に、法令・社内規定・企業行動指針違反に関する通報の窓口として「H.U.グループホットライン」を設けています。社外の相談員が電話またはWebを通じて相談を受け付け、匿名による通報も可能です。通報内容のうち重大な案件については、適宜経営層にも報告される仕組みとなっています。また内部通報制度の周知のため、従業員に受付窓口が記載された携帯カードを配布しています。

知的財産活動

H.U.グループでは、グローバル事業を支えるため国内外で積極的に特許・商標等の知的財産権を取得し、自社製品およびサービスの保護を図っています。発明者に対しては報奨制度を定めてインセンティブを高めるとともに、公正で透明性ある制度運営に努めています。また他社の知的財産権を不当に侵害しないよう、研究および開発プロセスでは、適宜第三者特許調査を実施するとともに、研究部門の従業員を対象とした知財教育も行っています。

腐敗行為防止への取り組み

H.U.グループでは、医療や検査技術の向上のため、医療機関や研究機関等との連携を進めておりますが、同時に高い倫理性を伴った行動を遂行することで、透明性・信頼性の向上に努めています。プロモーション活動においては、社内の「プロモーションコード」を遵守し、透明性の確保に積極的に取り組んでいます。

企業基盤

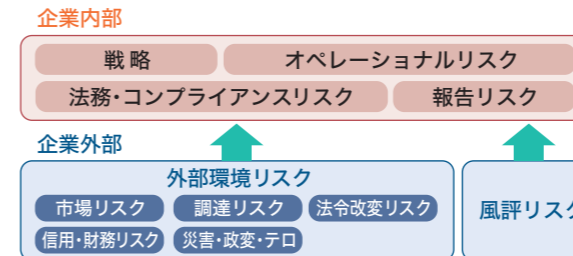
リスクマネジメントの推進

経営リスク（戦略的リスクを含む）の特定・評価・軽減・回避・監視を通じて、リスクマネジメント体制の充実を図り、企業価値の毀損防止に努めるとともに、インシデントには迅速かつ適切に対応し未然防止を徹底する。

基本的な考え方

H.U.グループでは、事業活動を取り巻くさまざまなリスクを適切に把握・管理するためにリスク管理委員会を設置し、リスクマネジメントを推進しています。毎年、H.U.グループホールディングスおよび事業会社で経営に影響を与える可能性のあるリスクについて、グループ共通の基準でリスクの評価を行い、その結果を基に重要リスクを特定し、その対応計画の策定とリスクの低減活動を行っています。

●グループリスク一覧



企業基盤

情報セキュリティの強化・プライバシーの保護

ITセキュリティの体制整備と従業員教育を充実し、そのグループ内への周知徹底により情報漏洩防止の強化に努めるとともに、事業活動を通じて入手・保管している患者さまや顧客、取引先、従業員等の個人情報の保護も徹底する。

情報セキュリティの強化

H.U.グループでは、主に医療機関から検体と個人情報を大量にお預かりするため、セキュリティの確保と個人情報保護法の遵守体制構築を経営の重要課題の一つとして位置づけています。エスアールエルでは、プライバシーマーク^{※1}認証を平成17年2月に取得しているほか、情報システムのセキュリティ対策としてISMSおよびISO/IEC27001^{※2}の認証を八王子事業所の一部分で取得しています。これらの運用により、情報漏えいを発生させないマネジメントシステムを構築しています。



※1 エスアールエル全社にて取得

※2 エスアールエル八王子事業所（日野管理棟・情報物流センターの一部）にて取得

BCPの取り組み

H.U.グループは日本の大病院の約8割との取引があり、大規模災害等によって業務が中断してしまうことで、日本の医療全体の混乱を招くことが懸念されます。検査を止めないことは私たちにとっての使命であり、それは災害発生など非常時においても同様です。現在運用しているBCPは2011年に各事業会社で策定されたものであり、昨今の自然災害が頻発する状況を受け、グループとしてBCPを再構築しています。新たな計画は、結果事象での見直しを図っており、緊急時に確実に機能する内容を目指し、ルールづくりだけでなく、実際の訓練や演習を組み入れたものにする予定です。また現在建設中の「新セントラルラボラトリー」は、災害発生時においても業務継続力の高い設計であり、影響を最小限に留めることを目指した施設・設備を想定しています。

セキュアな環境づくり

働き方改革の施策の一つとして展開している「リモートワーク」は便利である一方、情報漏えい等のリスクも高くなります。そこでH.U.グループホールディングスIT本部では、データの暗号化や、リモートによるアカウントロックなど、より安全な環境を構築できるようなシステムの開発に取り組んでいます。また従業員のITリテラシーを高めるため、グループ各社では、毎年e-learningによる全社教育なども実施しています。

e-learningのテーマ（一例）

- スマートフォンの取り扱い
- パスワードの取り扱い
- クリーンデスク

